



平成 22 年 2 月 12 日

各 位

会社名 油研工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 向出靖弘
 (コード番号 6393 東証第1部)
 問合せ先 取締役管理本部長兼経理部長
 永久秀治
 (TEL 0467-77-2111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 10 月 8 日に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,500	百万円 △500	百万円 △900	百万円 △700	円 銭 △16.13
今回修正予想 (B)	19,500	△850	△1,200	△900	△20.73
増減額 (B-A)	0	△350	△300	△200	
増減率 (%)	0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	25,321	1,059	907	190	4.33

(2) 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,000	百万円 △800	百万円 △1,000	百万円 △600	円 銭 △13.82
今回修正予想 (B)	13,000	△1,200	△1,450	△900	△20.73
増減額 (B-A)	0	△400	△450	△300	
増減率 (%)	0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	19,241	819	578	84	1.92

2. 修正の理由

わが国経済は、一部には持ち直しの動きが見られるものの、先行きの不透明感は払拭できず、設備の過剰感、雇用情勢の悪化、円高、企業業績の低迷など、依然として予断を許さない状況にあります。

一方、海外につきましては、中国・アジア地域は世界同時不況による急速な需要の落込み後、内需中心に堅調な回復が続いており、受注環境は好転しつつあります。

このような状況の中、当社グループは直面する厳しい事業環境を乗り越えるため、引続き緊急コスト削減策による固定費の圧縮、海外市場展開の強化に取り組んでまいりましたが、国内向け標準機器の受注減少に伴う変動費率の上昇、円高に伴う為替差損 3 億円（連結）の発生などが予想され、業績は前回公表予想を下回る見込みであることから、通期業績予想数値（連結・個別）を上記のとおり下方修正いたします。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があることをご承知おきください。

以上